

# 中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

大町高等学校

## 山岳部 鍬ノ峰整備作業

大町高校山岳部は、夏山シーズンを前に7月12日、今年度の整備作業を行った。当日は元長野県警遭難救助隊長で長野県山岳遭難防止アドバイザーの中嶋豊さんと山仲間の広岡四方治さんも駆けつけてくれ、生徒と一緒に汗を流し、笹刈りを中心とした整備作業を手伝ってくださった。信州の山を隈なく歩き、絵心に長けた中嶋さんはご存知の方も多と思うが、「信州山歩き地図」を出版され、HP上でも公開されている。この「信州山歩き地図」は中嶋さん自身の言によれば、「信州の山々を『安全に楽しく』歩いてほしいとの願いを込めて作りました。地形図と併せてご覧くださいね」というコンセプトで描かれている。鍬ノ峰についても、旧来の親沢からのルートについては、すでに公開されているが、今回「大町高校ルート」も歩いていただき、「これで両方のルートがつながった。いいコースだ。」と評価していただきました。



さて、今回の作業には、3年生が1人、2年生が3人、1年生が4人と顧問が2名。応援の2人を加えて総勢12人。北信越大会終了後、形の上では一応引退した3年生も参加してくれたが、実質上新体制になって初めての山行である。8:35新部長になった2年生のYを先頭に歩き出す。歩き出してすぐに、まるで私たちを待っていてくれたかのごとく、登山道上でカモシカが私たちを歓迎してくれた。昨年は行わなかった下部の倒木や他山道にかかる枝なども処理しながら、進んでいく。例によって1208mの尾根の分岐点で一本。その後は、やや長いピッチであるが北峰まで進む。4月に歓迎登山で来たときには、ここで来るだけでへろへろだった1年生もこの3カ月ほどで逞しくなった。



作業は歓迎登山時に下見をしておいた通り、今年もここからが本番。ナタガマを振るいながらじりじりと前進していく。上級生は下級生に要領を伝えながら、意気揚々と作業を進めていく。およそ1時間、最低鞍部を過ぎて、本峰への登りにかかってしばらく進んだところで一本取る。あと一本で頂上まで届くだろう。このところ天候はずっと不安定で、2日前まで行っていた全校登山の下見はずいぶん降られ、この日の作業も降られたら困ると思っていたが、幸いにも梅雨の晴れ間で天気は最高。

頂上直下は、ずいぶん藪が濃くてやはり簡単には登らせてくれなかったが、そんな苦勞をねぎらってくれるかのようなササユリが咲いていた。実質5時

写真：上生徒Y君、下広岡氏の提供

間、うち作業時間は正味2時間、13:30に全員が山頂に到着。快晴の空の下、360度の眺望が我々を迎えてくれた。

作業を終えて、生徒の一体感と山岳部への帰属意識を育てるには最高の機会であると改めて認識した。終了後のミーティングでも生徒たちが、作業をやらされたものと捉えていないのがうれしかった。また、中嶋さんと広岡さんから「みんなのやっていることはまさにボランティアの精神に裏打ちされた作業である。」という高い評価をしてもらったことも大きな自信になったことだろう。

## 台風一週にも関わらず 大町高山岳部夏山準備合宿

夏山準備合宿を7月18、19の両日行った。初日は赤岩尾根から冷池を目指した。台風11号は前日に日本海に抜けたものの、南からの湿った空気の流入で、猛烈な荒天。今回のコースは実は全校登山のコースの一つでもある。山岳部の生徒の中で、このコースを選択した生徒がいなかったのも、山岳部としてテント泊で心意気をしめそうじゃないかというのが計画した理由でもあった。今回の参加者は2年生が2名、1年生が4名。

雨の中8:36大谷原発。一本目の休憩は西俣出合の堰堤のトンネル。ここから高千穂平までの標高差700mは何度登っても厳しい。覚悟はしてはいるものの、雨の中、初めてこの道を登る生徒たちにとってはなおのことだろう。途中一本とって、11時40分高千穂平に到着。12時35本白樺平(2278m)。冷池のテマ場では雨で猛烈な風が吹き荒れる中での幕営。生徒にとっては過酷なテント張りはごまかしがきかない。1年生2人の女子と小生があつという間に張り終わったあと男子4名はかなり苦戦。経験者の小生が一人いるだけで、テント張りにもこれだけの差が出ることを思い知らされた生徒たちは男子にとっても女子にとってもこれ以上ないいい経験になった。しかしいったん張れてしまえば「テントの中は極楽だ」14時から長いテント生活を生徒たちは満喫。

結局、風雨は治まることなく、一晩中吹き荒れた。予定では3時起き、4時半出発で鹿島槍をピストンしてから、爺へ縦走して柏原新道を下る予定であったが、この風雨とガスの中行ってもただ行くだけになる、山は逃げないということを鑑みて出発を1時間遅らせて、鹿島槍はパス。5時半爺ヶ岳へ向かった。雨の中山頂で山岳部歌を歌い、種池山荘を8時20分に出発。前日の赤岩尾根は下山してくるパーティー組に会ったのみであるが、梅雨明け、海の日の前日の柏原新道は大渋滞。すれ違いが大変で下りになんと2時間半もかかってしまった。下に下り扇沢の登山指導所で指導をしていたMさんに聞くとこの日の入山者は358名とのことだった！！

## 大町高校最後の「第68回全校登山」において

7月7日から9日は全校登山の下見で表銀座を槍ヶ岳目指して縦走した。今年は昨年とは全く違って、雪が極端に少ない。これは北アルプスのどこも同様な状況であるが、喜作新道も東鎌尾根もほとんど雪はなかった。さすがに槍沢には残っているとは言うものの、坊主の岩小屋も出ていたし、グリーンバンドの下からはほぼ夏道を下ることができた。入山日も中日も夕刻からは雨が降り、最終日も雨の中を下山と最悪の条件だったが、下見の意味は十分あった。明後日(22日)からは全校登山の本番。後半は台風の影響が若干心配もされるが、梅雨明けで恐らく大町高校としての最後の第68回全校登山は無事行うことができるだろう。事故にだけは万全を尽くして、安全登山を行いたい。